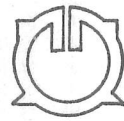


横芝町の人口と世帯

| | |
|-------------|--------------|
| 〈11月30日 現在〉 | |
| 人口 | 12,669 (-15) |
| 男 | 6,084 (-9) |
| 女 | 6,585 (-6) |
| 世帯数 | 3,086 (+2) |
| ()内は前月比 | |



広報

横芝

第 100 号

昭和 48 年 1 月 1 日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17



新春のご挨拶



横芝町長

伊東 巖

横芝町の皆さま、町長の金なして、横芝駅に跨線橋を架設いたしました。伊東巖でございます。明けましておめでとうございます。

私は、昨年の始めに、横芝町発展の基本構想を策定し、その構想の中に四つの柱をうち立てました。

一、新時代への産業基盤の整備

二、均衡と調和のとれた経済開発

三、快適な生活をおくるための社会開発

四、健康で文化的な人づくりのための教育振興

この目標に対して、具体的な計画のもとに、予算化して一步一步前進すべく努力を続けて参りました。こうした心構えの下に実施した四十七年度の主なる事業を列挙して見ますと

▼観光産業の発展を図るために、屋形海岸に海の子供の国を誘致いたしました。

▼慣例を破って、地元負担

▼赤字経営の町営老人ホームを、山武郡市の広域行政組合に移管して、百人収容の新しい老人ホームを上町に建設中であります。

▼漸減しつつある横芝町の人口を増加の方向に導くため、高橋学園跡地約六千六百坪を七十二区画の宅地に造成して分譲いたしました。

▼町道一万四千二百三十八米を舗装いたしました。

▼県道の未舗装千四百七十七米を、十回にも及ぶ陳情により舗装いたしました。これで横芝町内の県道の舗装は一〇〇%となりました。

▼上堺小学校を全面改築いたしました。横芝小学校はただ今増築中であります。大総小学校の防音校舎は、近く着工の予定であります。

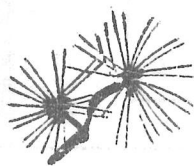
▼七十才以上の老人の医療費を、国や県に先きかけて無料としました。

これらの事業は、町議会の実に積極的なご協力に加えて町民各位のご理解に基くもので、年頭にあたり改めて、厚く感謝を捧げるものでございます。

さて、基本構想の目ざす産業基盤の整備、経済開発、社会開発、教育振興の四大眼目達成には、今後幾多の困難とあい路のあることを覚悟いたしております。特に社会開発の面は、昨年末の衆議院議員の総選挙の際にも、各政党挙って、その向上改善を強調して参りましたように、七十年代政治の焦点であります。私は、町政の担当者として、責任の重大なことを痛感しております。

町民各位の倍旧のご協力をお願いして、万難を排して、理想の町造りに邁進する覚悟でございます。

終りに、皆様のご健康とご多幸をお祈りして、新春のご挨拶いたします。



年頭のことば

横芝町議会議長 鈴木 繁



昭和四十八年の年の始めにあたり、議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

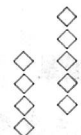
町民の皆さんおめでとうございます。輝かしい新春を迎えまして皆さんともに新春を寿ぎ、あわせて皆さんの限りなき進展と幸福をお祝いいたします。私の心から喜びとすると、心から喜ぶ。年の改まるとともに、私達議会人も堅い信念のほどを誓いあい、町民の皆さんが豊かでより幸福な生活がでまいる日々を送ることができ、また、より幸福な生活がでまいるよう意を新たに、町政発展のために努力いたす所存であります。もとより、議会は町民のためにあり、声の窓口として推進の母体として存在するものであります。議会活動の良否は直ちに町政の上に反映するものであり町民のひとしく注目するところであります。

ます。従いまして、私達は、議会人としての誇りと責任を自覚し、つつ良識に基づき、町民全体の奉仕者であることを忘れることなく、皆さんのご期待に添うよう努力して参ることこそ当然であります。が、議会人一同更に情熱をかたむけて尽力することをお誓いいたす次第であります。過去の欠点は率直に反省し、皆さんから愛され信頼され親しまれて議会として、議員ひとりひとりが常に良き町民の友として住民の声を声として、また、心を心として大切に受け入れ最大の努力を払い、つつその目的をはたしていきたくと思っております。それには皆さんと緊密な連けいを保ちながら、世論の現状を把握し、時代に即応した計画的、総合的な行政を通じて推進し、一歩一歩確実に精進いたさねばならないと思っております。自らは微力ではありますが、幸い議員各位の献身的な活動と充実した事務局の力で皆さんの要望にこたえられるものと確信いたしております。尚、当面の課題と致しまして、

- 一、教育施設の建設並びに社会教育の育成
- 一、きめこまかな福祉行政の

向上と生活環境の整備
一、道路整備の拡充
一、農商工業の振興対策と開発事業の推進
一、空港騒音対策

以上の諸問題に一層力らして其の実現を期する決意でありますので、皆さんのご理解をいただき町政発展のために旧年に増してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。終りに皆様方のご健勝とご多幸をお祈りして年頭のごあいさついたします。



老人医療 受診のときは せひこれだけを

当町では、既に七十才以上の高齢者に対しての医療費の高割給付を、町独自の方式で行なってきましたが、こんど老人福祉法の一部改正により国が、その一部を負担することになりました。そこで本年一月一日から受診する場合、次の点に注意してください。

一、(老)老人医療費受給者証を交付された者は、受給者のほかに国民健康保険被保険者証、又は、社会保険等の被保険者証と二枚合わせて医療機関の窓口へ提出して下さい。

二、(老)老人医療費受給者証を交付された者は、受給者のほかに国民健康保険被保険者証のみを医療機関の窓口へ提出して下さい。

三、(老)国民健康保険被保険者証だけの者は、従来どおり、国民健康保険被保険者証のみを医療機関の窓口へ提出して下さい。

以上該当する者は、無料で受診できます。ただし、保険給付の対象にならないものは除きますのでご注意ください。たとえば、往診の際の規定外の車代、入院の際の差額部屋代、規定外の看護代、水薬のピン代等は、対象になりません。

十年一昔と言いますが、ふり返ってみると井上勇町長時代ですから二昔前の現広報の前進であった横芝町報が創刊された。当時は、戦後の混乱も未だ納らず、秩序の回復も充分でなく、食糧事情も窮乏をきわめていた。町には自治警察が置かれ、人心の動揺、暴力破壊活動の防止、社会秩序の復活と治安維持に大いに力を注いでいた時であった。

追憶

栗山勝又 豊

記事だと思ふ。当時の社会事情は、敗戦の痛手による疲弊さつを交す。その態度には、敗戦による屈辱感もなく皆な明るい表情で素直であった。町も学校当局も教育制度は大変革期で、PTAのあり方等大きな諸問題が山積して「横芝小学校の生徒は、皆な礼儀が正しい皆なあいさつをし育は残った。私は今日、日本

横芝町報が誕生されたものと私は記憶している。

町報は、騰写刷りであったが住民が自由に建設的意見や町への要望、行政上の改善、その他明るいニュース等の寄稿も一般から募集していた。今は故人になられたが、鳥喰

町報は、騰写刷りであったが住民が自由に建設的意見や町への要望、行政上の改善、その他明るいニュース等の寄稿も一般から募集していた。今は故人になられたが、鳥喰

証のほかに、社会保険等の被保険者証と二枚合わせて医療機関の窓口へ提出して下さい。

三、(老)国民健康保険被保険者証だけの者は、従来どおり、国民健康保険被保険者証のみを医療機関の窓口へ提出して下さい。

以上該当する者は、無料で受診できます。ただし、保険給付の対象にならないものは除きますのでご注意ください。たとえば、往診の際の規定外の車代、入院の際の差額部屋代、規定外の看護代、水薬のピン代等は、対象になりません。

と町報へ寄稿した。その当時の校長は、宇多幹男氏(現学校給食会事務局長)でした。生徒全員を校庭に集めて私の町報にのせた拙文を読み上げて「人はあいさつが大切であることを話されたとのこと、今想うと感無量である。

町村合併後、横芝町も大世帯となって、町の財政も億の数字にのぼるようになった。役場も学校も公民館も立派に整い、各部落にも結構な青年館等が建設され、文化の発展は益々向上し町報時代と比べると実に隔世の感が深い。町の唯一の情報機関である広報も、ここに百号を記念するに至った。誠に御同慶に堪えない、今後も住民の声を耳目として、また町の木鐸として大いに活躍されんことを期待する。

百号特集

広報にみる

十一年の歩み

「広報よこしば」は、昭和36年11月に第一号が発行されて、今回百号を迎えることになりました。この間の町における主な出来事をふりかえり、原文の一部をあげてみたいと思います。

にうけて、新装なった横芝中学の屋内体育館の落成式が三月二十日午前十一時から盛大に行なわれました。(38年4月15日第8号より)

◎農業構造改善事業着手

農業の経営近代化を図り、農業所得を他産業に従事している人達の所得と同じ水準に引き上げることが目的とした本事業の実施地区は、三島、鳥喰上新田の二部落に決定いたしました。(38年9月15日第11号より)

◎児童遊園完成

東町の中心、稲荷境内に児童遊園ができあがりました。総工費三十四万五千円、敷地面積五百坪、スベリ台、ブランコ、鉄棒、シーソー、遊動橋便所などの施設が備えられ三月末に完成しました。(37年6月15日第4号より)

◎青年館の建設各所に進む

横芝町の青年館は、南川岸於幾、沼と陸統として誕生しているが、本年度は、本町と北清水西の部落にそれぞれ建

◎中学校体育館完成

麗らかな春の日ざしを一杯

設されました。(41年3月15日第28号より)

◎有線が公社線と繋がりました

接統局は四十七局(41年9月15日第32号より)

◎給食センター完成

横芝町立小中学校を対象とする給食センターは、予定より約一ヶ月遅れて十一月二日に発足した。一日の給食可能数二千五百食、所長以下十六名の職員を配置した設備は、管内児童生徒二千七百七十一名が、完全給食を受けられる名実共の給食センターとなり、次代を担う横芝町児童の発育と健康に貢献するところは大きい。(41年11月15日第33号より)

◎新栗山橋完成

千葉一銚子を結ぶ国道一六号線建設工事は、横芝・松尾間も基礎工事を終り、舗装を待つのみとなりました。新栗山橋は三月に完成し新国道の開通をまっています。(42年7月15日第38号より)

◎町長伊藤績夫氏叙勲される

横芝町長は春の叙勲で、自治功労者として勲五等瑞宝章

を授与され、五月十二日宮中に参内して陛下に拝謁を仰せつけられ無上の光栄に浴しました。(42年7月15日第38号より)

◎椎名登氏町長に就任

二月二十日に行なわれた町長選挙に当選した椎名登氏は同二十六日初登庁して、前町長伊藤績夫氏から一切の事務引継を受け町長に就任いたしました。(43年3月15日第43号より)

◎広報横芝月刊となる

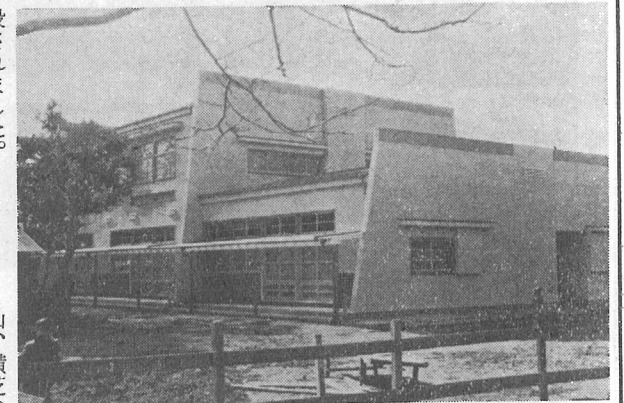
広報は今月号から月刊として、毎月一日付で発行することとし、これを機会に紙面の大きさを今までの半分、四頁の読み易く保存に便利な型に改めました。(43年7月1日第46号より)

◎電話がダイヤル式に

横芝電報電話局の新舎屋が本町交差点東角に完成し、待望久しかった町の電話が九月十七日午後三時、一斉にダイヤル式に切換えられました。(43年9月1日第48号より)

◎横芝に急行とまる

横芝駅の急行列車停車については、しばしば国鉄当局に対して陳情しておりましたが、今年は夏の間だけ下り一本、上り二本停車することに決まりました。(44年7月1日第58号より)



◎東町児童館開館

かねて建設中であつた東町児童館は、四月八日開館式を行ないました。近在にも珍しい建築美と、お伽の国のそれにくらべて講堂、ステージ、図書室、それに遊園地まで加えた此の夢の殿堂は、必ず良い子の育成に大きな成果があがるものと確信する。(40年5月15日第22号より)

Table with population statistics for Higashi-Koyohji, comparing 1950, 1930, and 1935 data across various categories like total population, males, and females.

◎37年度当初予算 総額九千二百五十五万円 (37年3月10日第3号より)



◎横芝町十周年記念式典

横芝町合併十周年記念式典は、好天に恵まれた十月二十八日横芝中学校体育館で開催されました。(40年11月15日第26号より)

◎役・旧庁舎
解体される

昭和四年に落成してから三十四年、町村合併後の昭和三十四年まで役場本庁舎として使用され、合併後は商工会事務局や教育委員会事務局に活用されておりました。この旧庁舎も四十年の星霜を送り迎えて、九代に亘る首長の政治を見守り全住民と苦楽を共にして町政の中心となっていました。が時代の流れに抗し得ず遂に解体される運命となりました。(44年8月1日第59号より)

◎カントリー エレベーター
導入

横芝農業協同組合では、県内で初めてカントリーエレベーターを導入し三月末完成を目ざして工事が急ピッチで進められています。(45年3月1日第66号より)

◎中央公民館が完成

町民の皆さんが待ちに待った、横芝町中央公民館が、この度完成しオープンしました。建物は、鉄筋コンクリート二階建、総床面積一、〇〇七、五九六平方メートル、総工費四千四百九十万円です。愛と協力を、その健全な成長を更におし進めるため、「青少年のつどい横芝町大会」が十一月三日中学校体育館で盛大に開かれました。(44年12月1日第63号より)

◎青少年のつどい
横芝町大会開く

明日の郷土をささぐ青少年の意気を示すとともに、青少年相互の連帯意識を強め、友



外国青年も参加し盛大のつどい大会

百二十万円で、モダンな設備は、近隣インと近代的な設備は、近隣町村には見られない立派なものです。(45年6月1日第69号より)



完成した町中央公民館

◎一日県庁開く

県政懇談会(俗に一日県庁)が、去る九月三日横芝中学校体育館に於て開催されました。この県政懇談会は、日ごろ県政について聞きたいとかあるいは、こうしたらどうかというようなことを話しあい住民の意見を県政の中にとり入れて行くことを目的として開催されたものです。(45年10月1日第73号より)

◎町議会議員決る

統一地方選挙で横芝町議会議員選挙の投票は、四月二十五日行なわれました。前回に続く小選挙区で実施され、好天にも恵まれて投票率も九十七パーセントを上回る良い投票率でした。選ばれた十八名の議員さん方には、これから四年間町の発展と住民の福祉向上に存分のお力をお願ひする次第です。(46年5月1日第80号より)

◎青年の主張全国大会で
伊藤君入賞

NHK主催による青年の主張全国コンクール大会に、甲信越地区の代表として参加した屋形荒場の伊藤一男君は「私の青春」と題して見事に「優秀」という成績をおさめました。(46年5月1日第80号より)

◎消防署横芝分署が完成

横芝電報電話局から光町より約百メートル行った所に、この程、八日市場市外三町消防組合消防署横芝分署が四月十七日完成しました。(46年5月1日第80号より)

◎伊東巖氏町長に就任

椎名前町長退職にともなう町長選挙が、去る六月十七日行なわれ、伊東巖氏が当選しました。(46年7月1日第82号より)

◎保養センターが完成

永年の夢であった国民保養センターが、去る七月二十五日白砂と緑に囲まれた屋形海岸に完成しました。(46年8月1日第83号より)

◎大きかった台風跡

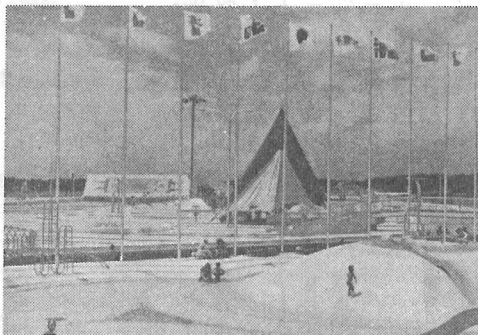
房総半島を掠めて三陸沖に去った台風二十五号は、停滞していた秋雨前線を刺激して

◎跨線橋竣工

昨年十二月から工事が進められていた横芝駅跨線橋は、約六百五十万円の工費をもって完成いたしました。(47年3月1日第90号より)

◎海のこどもの国七月一日オープン

九十九里海岸の観光開発と次の世代をにう子供達の画期的な健全育成施設として、屋形海岸に建設中の千葉県海のこどもの国が完成しました開園式は、一日、常陸宮、同妃殿下をお迎えして盛大に行なわれました。(47年7月1日第94号より)



◎関東大会で横中テニス部
男女とも優勝

大会は、八月十六日埼玉県松山市の市営庭球場で行なわれ、県代表の横芝中学校が昨年に続き優勝しました。(47年9月1日第96号より)

横芝の碑 その四

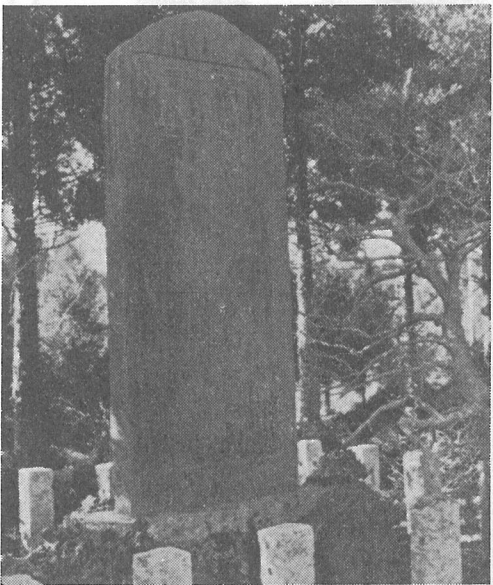
仰げば尊し

—八安塚先生の報徳碑—

小堤の振子坂を上り、両総用水第二機場の裏手を過ぎて坂の勾配が漸くきよきよとす左手の高台に根府川石らしい立派な碑が建っています。篆額には篆書体で報徳碑と刻まれています。

この碑は、元大総尋常高等小学校初代校長安塚光太郎先生のためにその教子達が建立したものです。

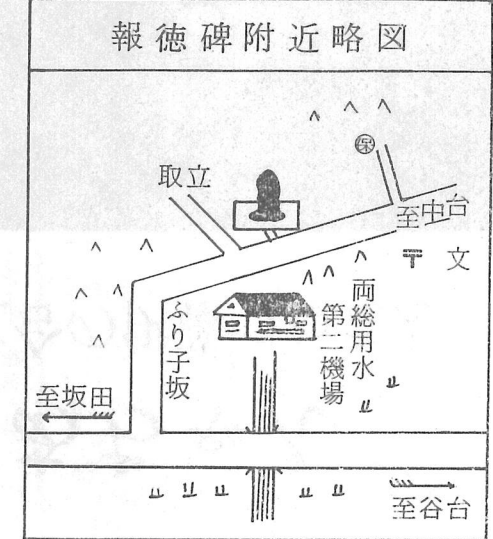
先生は印旛郡佐倉の出身で千葉師範を卒業後各学校を経て明治二三年一月大総尋常高等小学校長として赴任、以来明治四五年に到る二〇年余り、「子弟の教育は学校のみならず」と住居を大総の地に求めて教育一筋に打込まれたのです。当時の教子であった元大総村長の土屋煮一さん(牛熊)は「安塚先生はとに角熱心な方で、教室では仮初の外見も許さず、鞭がとぶこととは度々でした。しかし、一度教室から離れると尋常一年生にも話しかけられる、というやさしい面もありました」と話しています。そうした先生の熱意は近隣町村にも伝わり、二川、多古、横芝等から



寄留転学が相継ぎ、加えて高等科が設けられている学校が少なかったこともあり一時は九〇〇名に余る教子を擁し授業時間の分割を余儀なくされる有様でした。四五年二月健康が勝れず退職された後も尚先生の徳を慕い先生の私宅を訪れて教へを乞う青年の姿も数多く見られました。

大正五年一月、養生の甲斐なく逝去されましたが大総村では生前の功德に対して先生

の遺体を火葬場に送る時に村葬の格式を以て偶したので、其後教子達はそれぞれ社会に巣立ち、馳て各方面の要職につき、又実業界にと立派に先生の薫陶をいろいろな形で生かし続けられました。しかし、そうした方々の心の中に何時も焼附いていたのは先生の人徳でした。昭和の初め誰からともなく先生の報徳碑建立の話が出ますと、関係者の衆議は忽ちに一決し、この様に立派な報徳碑が建立されたのです。碑面には、



人生而非知者成就師而得知故師恩之重須臾不可然也先生諱光頼安塚氏通称光太郎印旛郡佐倉人家世仕堀田公曰右中太毗松本氏先生其第二子也資性温厚小学城内西塾後転于鹿山精舎更入変則佐食中学校修

漢英数之三学科長入千葉師範学校卒業後奉職于数校明治十六年出向神奈川県更に奉職于松田及三育校又転于栃木県鳥山尋常高等小学校二十三年十二月為訓導兼校長来于大総教于教授子弟益見有万爾後二十余年提伸誇掖諄々不倦竟博長校長名是故自四隣校転学者頗多門弟垂九百人三十二年受普通免許於文部大臣四十二年受彰功於知事且兼圖書館長又為日本赤十字社終身社員四十五年二月罷病退職優游養老大正十一年一月十五日忽然病歿大

議忽決乃関其事者来清文於余余老耄雖固辭堅請不已因思余曾引執教鞭於同校遂感焉然淺學恐不能詳拳其鴻德聊叙厥梗概以誌不忘云銘曰

奉職小庠 功溢閭鄉 人古梅 匹 鶴流芳 溢焉辭世 門 弟悲傷 蕩々之德 鴻恩難忘 碑樹於此 骨葬佐倉 東西 赫灼 如名放光 嗟予小子 (給食センター小沢所長寄稿)

農業統計調査始る

二月一日から

二月一日現在で農業基本調査が実施されます。この調査は、農業の基本的事項についての総合的な農業統計調査です。この調査をもとに、農業の実態を明らかにするとともに、今後の農業行放に必要な統計資料を整備することが目的です。正しい申告をされますようご協力をお願いいたします。

- 調査の対象
調査期日に町内にある農家(世帯)および農家以外の農業事業体について行ないます。
- 調査事項
- ①世帯員の状態
 - ②経営耕地
 - ③養蚕
 - ④農業労働
 - ⑤農用機械
 - ⑥施設園芸
 - ⑦畜産
 - ⑧果樹
 - ⑨農作物
 - ⑩過去一年間の農産物の販売

清景仰望
昭和三年一月
貴族院議員正四位伯爵 堀田正恒 篆額
元山武郡大総尋常高等小学校 訓導 菱木簡吉 撰文
南満中堂教諭三輪 環 書

尚、三輪環先生は長倉の出身で牛熊薬王寺に開かれていた寺小屋時代の先生で土屋煮一さん宅に寄宿しておられ、後上京され書家として一家を成し国定教科書の書方の手本等を書かれた方だそうです。それからこの碑の背面には教子達の氏名が細かく刻まれています。中には元大総村長さんを始め横芝方面等の謂所功成り名遂げた方々の氏名も大分拝見できます。そうした著名な方々も自分の手に鎌等を持って報徳碑の周辺清掃に奉仕されるということですよ。

先生は印旛郡佐倉の出身で千葉師範を卒業後各学校を経て明治二三年一月大総尋常高等小学校長として赴任、以来明治四五年に到る二〇年余り、「子弟の教育は学校のみならず」と住居を大総の地に求めて教育一筋に打込まれたのです。当時の教子であった元大総村長の土屋煮一さん(牛熊)は「安塚先生はとに角熱心な方で、教室では仮初の外見も許さず、鞭がとぶこととは度々でした。しかし、一度教室から離れると尋常一年生にも話しかけられる、というやさしい面もありました」と話しています。そうした先生の熱意は近隣町村にも伝わり、二川、多古、横芝等から



新春こども会

書初め展開く

新年の伝統的行事の一つである「書初め」を通して児童生徒の情操を高めるとともに子供会における共同学習活動の推進を図ることを目的として、つぎの要項により昭和四十八年子ども会書初め展覧会を開催いたしますので、多数参加くださいますよう、ご案内いたします。

一主催 横芝町中央公民館
横芝町子ども会育成

二開催期間 昭和四十八年一月二日から二十五日まで

三会場 横芝町中央公民館
四募集作品 小一年やり、小二みどり、小三わかしお小四わざと力、小五年花と団体、小六年自然の美、中一年小鳥の楽園、中二年花咲く房絵、中三年大

建設のあゆみ

12月～1月

完成した事業

①道路舗装工事

| | |
|----------|-----------|
| 栗山分譲地内道路 | 4,334㎡ |
| 取立～長倉線 | 1,143 m |
| 小堤～町原線 | 1,044.2 m |
| 牛熊東線 | 714 m |
| 曾根合線 | 249.5 m |

着工及び工事中の事業

①建築工事

| | |
|----------|---------|
| 横芝小第六期増築 | 179.08㎡ |
|----------|---------|

試合勇氣、用紙の規格は、ヨコニ一、五センチ、タテ八三センチ 作品の裏面に所属子ども会名と氏名を書いて下さい。

五出品期限 昭和四十八年一月十日まで
六出品場所 横芝中央公民館 (各子ども会で取りまとめて搬入してください)

七審査会 昭和四十八年一月十八日
八褒賞 町長賞ほか多数(賞状トロフィー等)
九授賞式 昭和四十八年一月二十一日、午前十時

十成績通知 作品と賞状の返送をもってこれにかえます。

自主性と協調を

新年子ども会大会開催

学校外における組織的な集団活動によって、子どもの自主性や協調性を高め、社会生活を身につけさせて行くために、是非必要な子ども会の活動の活発化を推進することを目的とし、つぎのとおり新年子ども会大会を開催いたしますので、子ども会育成会員ならびに、これから子ども会の育成を考えておられる方々の参加をお願いいたします。

一開催日時 昭和四十八年一月二十一日、午後一時から四時まで
二会場 横芝町中央公民館
三内容 1 子ども会活動の実践発表及び意見交換 (育成会及び子ども会の会員により)
2 映画会
四参加者 1 各子ども会ならびに育成会の会員
2 これから子ども会を結成しようとしている地区の代表者

スポーツクラブ 誕生

会員を募集しておりましたスポーツクラブの活動がつぎのとおりスタートしました。まだ小さな組織ですが、皆さんの手で大きく大きく育てましょう。

一定例練習日 毎月第二、四の日曜日 二時間 午後一時三十分から午後四時まで
三会場 横芝中学校
四種目 バドミントン、卓球、バレーボール、
なお、まだ参加を申し込ま



横芝句会十二月例会

川涸るる街の汚れは尾を引いて
土屋 栗水
石川 奇水
柚子の黄や日を失いて道寒し
齊藤ちくろ
川涸れに悪重らしく騒ぎ居し
宇都木吐句志
暖房の床場の椅子に背中もむ
若梅あやめ
山里の生活も静か水涸れて

藤代 ゆう 柚子の香と添えて受けつぐ母の味
千島 すみ 暖房や気心知りし人と居る
木下石果子 暖房車降りて鋭し向い風
三枝 句城 田水涸れ川涸れ過疎の村なりし
佐久間実枝子 暖房や毛糸編む手の軟きこと
古谷 紅雲 柚子をもぐ一事請負う留守居かな
奥山 萌古 柚子ひとつほのかに匂う小買物
砂丘 子 柚子熟れて農庭の野趣整えり
次回 一月十三日 一時 兼題 霰 注連 四句

表彰さる

横芝中学校
中央公民館

去る、十一月一日、千葉県教育会館で学制百年記念式典が開催されました。この席上本町横芝中学校は、昭和三十八年統合以来全職員、生徒一丸となって校風づくりに専念し調和と統一のある教育実践を遂げました。

に努めていることが認められ学校教育の部で県教育委員会から栄えある表彰を受けられました。又社会教育の部では横芝町中央公民館が県下公民館の模範であるとして、表彰を受けました。